

8 生活のルールを確認する

場面：シェアハウス入居日の会話

状況：管理人が留学生にシェアハウスでのルールを説明する

登場人物：

A (男性、管理人(野口))

B (女性、留学生(ユイ))

A: 今日からここに入居するユイさんですね。こんにちは。私は野口と言います。管理人です。

B: ユイと申します。よろしくお願ひいたします。

A: じゃあ、このシェアハウスの説明をしますね。

B: はい。

A: このシェアハウスはいろいろな国の学生が一緒に暮らしています。部屋は一人ずつ分かれています、キッチンや風呂は共用です。

B: はい。

A: 冷蔵庫の中に食べ物を入れるときは、名前を書いてください。

B: はい。

A: それから、夜11時以降は共用の場所では大きな音を出したり、大声で話さないように。料理をする時にもおの強いものは作らないようにしてくださいね。

B: はい、気をつけます。

A: それから、金曜の夜はリビングでみんなでおしゃべりする時間があるんですよ。日本語の練習をしたい人が来て、私もよく一緒に話してますよ。

B: いいですね！私も日本語の練習したいです！

A: ははは。それから、ゴミの捨て方について説明しますね。ここでは5種類に分けます。燃えるゴミ、プラスチック、缶・ビン、ペットボトル、それから資源ごみです。あそこの壁にイラスト付きの説明があるので、それを見るときいいですよ。

B: わかりました。私の国ではここまで細かく分けないので、ちょっとびっくりしましたが、これを見ればよくわかりますね。

A: そして、ここがお風呂です。お風呂もみなさんで使うので、ルールがいくつかあります。お風呂やシャワーを使い終わったら、このブラシでかんたんに掃除してください。次の人がきれいに使えるように。

B: はい。

A: それから、お風呂の手前が服をぬいだり、体をふいたりするところですが、もし床が濡れてしまったら、最後にタオルで拭いてくださいね。

B: わかりました。日本では、毎日シャワーやお風呂に入る人が多いって聞いたんですが。

A: そうですね。清潔さや匂いを気にする人が多いので、毎日入る人は多いと思います。

B: そうですか。そういうところも、国によって違いますね。

A: 外国の習慣に慣れていくのは、最初は大変ですよ。でも大丈夫！わからないことがあれば、いつでも私に相談してくださいね。